

作業経過検討用

ケースの疾患名	年齢	性別	問題の焦点（検討の焦点）	
脱水症後廃用症候群	80歳代	女	本人の意味のある作業である「炊事」の練習を拒否	
リハへのニーズ	介入背景となる根拠		臨床思考結果	即興性
物語的R	科学的R		提供している作業	相互交流的R
本人や家族は何を希望しているか	どのような方針が示されているか		実際のプログラム	介入時に気づいた点や変更点についての考察、経過の考察 変更した（または変更する）作業の説明、介入時の即興的な合意形成など
夫と二人暮らしであり、自宅内では洗濯、炊事、掃除など主婦の役割を担っていた。趣味はクラシックなどの音楽鑑賞。	初回面接（COPM）	⇒	クライアントの語りに傾聴・共感	
	①炊事をする 満足度：5 遂行度：5 ②歩けるように 満足度：1 遂行度：1 「主婦としての役割だから、自分がやらないといけない」 しかし・・・ 「怖いので炊事の練習はしたくない」とOTを拒否。			
	マズローの欲求段階での考察	⇒	音楽鑑賞を用いた安全欲求の充足	
トイレ内で転倒し、A病院へ救急搬送。リハビリ開始となるが離床に拒否的。リハビリ継続目的で当院へ入院。	入院という環境の変化により主婦の役割が剥奪され、炊事ができない不安や恐怖心がみられた。 ↓ 安全欲求が不足していると考えられた。	⇒	音楽鑑賞を用いた安全欲求の充足	<p>大事な作業である炊事に恐怖感から従事に至らないケースに対し、皆さんは右図のCMCEから何を使い、どのように組み合わせ従事に導くのか、</p>